

モニタリング調査結果

種名： イチリンソウ

調査者： 特定非営利活動法人境川の斜面緑地を守る会

調査地： 橋本

調査期間	気づいたこと
2018年4月 ~2018年5月	開花数はAエリアで168個、Bエリアで23個。Aエリアではスゲ抜きに続き、川岸の枝を整理して明るくしたので、これまでで最高の開花数となった。Bエリアは林の中央部で大木の陰になるが、明るさを確保するために周囲を除伐し、開花数は増加中である。
2019年4月 ~2019年5月	開花数はAエリアで46個、Bエリアで17個。昨年は特別に開花数が多かったが、今年の計63個も例年より多い。ササ刈り、スゲ抜きでまわりを明るくしておく。
2020年4月 ~2020年5月	開花数はAエリアで105個、Bエリアで15個。Aエリアは川沿いで、日当たりの良い場所でまとまって開花した。スゲ抜きの効果と思われる。Bエリアは林内のため周囲の樹木が高木化して照度不足が進んでいる。周囲を除伐して照度確保に努める。